

解 答	1 (D)	2 (B)	3 (C)	4 (D)	5 (D)	6 (D)
	7 (A)	8 (C)	9 (B)	10 (B)	11 (D)	12 (A)
	13 (C)	14 (A)	15 (C)	16 (A)	17 (B)	18 (C)
	19 (C)	20 (C)				

- 「3月17日は祖父の誕生日でした。存命ならば、祖父は今年100歳でした」
  - ▶ 続くif節中の時制から仮定法の文と考える。帰結節は**助動詞の過去形**を用いるので(D)が正解。この文では条件節は仮定法過去だが、帰結節は仮定法過去完了になっている。
- 「会議のことをすっかり忘れていた。私はもっと注意しなければならない」
  - ▶ 続くlearnが**原形**であることから、(C),(D)は不適。「会議をすっかり忘れていた」に続くので、「もっと注意しなければならない」と考えて、(B)が最適。
- 「私は今年、テニスクラブに入ろうか思案中だ」
  - **think of doing** 「～することを考える、計画する」
    - I'm *thinking of emigrating to America.*  
(アメリカに移住しようかと思案している。)
- 「この経済状態下で仕事を探するのは、ますます難しくなっている」
  - ▶ difficultを修飾して「ますます難しくなる」とできるのは副詞の(D)である。
  - **increasingly** 「ますます、だんだん」 ⇨ more and moreよりも堅い語  
become *increasingly difficult*[clear]  
(いよいよ困難[明らか]になる)
- 「すみませんが、まだあなたのお相手をできません。皆さんと同じように一列に並んで待っていればよかったのに」
  - ▶ 空所に続くwaitedは自動詞が基本なので通例受身にはしないため、(A),(C)は不可。(B)も後に原形をとるので不可。よって(D)である。
  - **ought to[should] have+過去分詞** 「～すべきだったのに」
    - ▶ 『義務』の意味を表すshould / ought to 「～すべきだ」に完了形がつくと「～すべきだったのに(実際はしなかった)」という『過去のことに対する非難・後悔』などの気持ちを表す。  
The clerk *ought to have given* you a receipt.  
(その店員はあなたにレシートを渡すべきだったのに。)
    - cf. **should not[ought not to] have+過去分詞** 「～すべきではなかったのに」  
We *should not[ought not to] have turned* left at the last corner.  
(先ほどの角を左に曲がるべきではなかったのに。)
  - **had better do** 「～するほうがよい/～しなさい」
    - ▶ had betterは2語で1つの助動詞の働きをする。助動詞だから、had betterの後は**動詞の原形**。
    - ▶ youが主語の場合は『忠告・軽い命令』を表すので、目下の人や子供に対して使うことが多い。  
You *had better report* the accident to the police.  
(その事故のことを警察に通報しなさい。)
- 「教師は30分の説明時間を与えた。その間に彼らは授業中のコンピューター利用についての新しい考えを共有した」
  - ▶ 「教師は30分の説明時間を与えた」に続くduringは後の空所の語とともにthey以下で働き、「その間に彼らは授業中のコンピューター利用についての新しい考えを共有した」という関係になるので、**前置詞＋関係代名詞**の構文を考える。関係代名詞は(D)のみ。

7. 「万一その仕事で分からないことがあったら、遠慮なく連絡してください」  
 ▶ 文頭で助動詞を使うことから、**倒置**と考える。仮定法のifを省略して助動詞が先頭になる倒置であると気づけば、「万一～ならば」のif+S+should doが変化した(A)だとわかる。仮定法のif節のifを省略すると、後ろのSVは倒置され、疑問文と同じ語順になる。

□ **If + S + should do** ~ 「万一～ならば」

- ▶ 「(まあ、ないと思うが)万一～ならば」のニュアンス。絶対にあり得ないと思われることには用いない。

*If she should come late, give her this message.*

(万一彼女が遅れてきたら、この伝言を伝えてください。)

8. 「日本に住むほとんどすべての人は携帯電話を持っている」  
 ▶ allを修飾する副詞の(C)「ほとんど～」が正解。Almost ofという形はない。mostを使う場合はmost people, most of the peopleとすれば正しい形になる。

**almost**と**most**の使い分け

□ **almost all of the A** 「Aのほとんど」 (= **most of the A**)

- ▶ almostは副詞なので直接名詞を修飾できない。そこでall(形容詞・代名詞)を間に挟んで**almost all A / almost all (of) the[one's] A**などの形で用いる。

- ▶ almost all of the[one's] Aの場合、ofが省略されて、almost all the[one's] Aの形になることが多い。

「その学生たちのほとんど」

**almost all (of) the students** (×almost of the students [名詞の用法なし])

= **most of the students** (×most of students [theが必要])

□ **almost all A** 「(限定されない)ほとんど(すべて)のA」 (= **most A**)

「ほとんどすべての学生」

**almost all students** (×almost students [almostに形容詞の用法なし])

= **most students** (×most all students / most student [単数不可])

9. 「私は誤って、違う教室に行ってしまった」

□ **by mistake** 「誤って、間違って」

*She left her purse at home by mistake.*

(彼女はうっかりしてハンドバックを家に忘れた。)

10. 「こんにちは。車を借りたいのですが」

「申し訳ありません。車をお貸しするには21歳以上でなければなりません、お客様の免許ではまだ18歳です」

- ▶ 「申し訳ありませんが」なので、I'm sorry, but ~を解答する。

□ **I'm sorry, but** ~ 「申し訳ありませんが～」

cf. Excuse me, but ~ 「すみませんが～」

*Excuse me, but would you mind turning down the radio?*

(すみませんが、ラジオの音をもう少し小さくしていただけませんか。)

11. 「私にはこの数学の問題を暗算で解くことができない。計算機が必要だ」

- ▶ (A) get on ~ 「～を身につける」, (B) go on doing 「～し続ける」, (C) come up 「やって来る」

□ **work out** ~ 「(問題など)を解く」 (= **solve**)

*The English teacher gave us five minutes to work out the problem.*

(英語の先生はその問題を解くのに私たちに5分時間を与えた。)

- ▶ 自動詞用法「(計画などが)うまくいく」も重要。

*Did the plan work out?*

(計画はうまくいきましたか)

12. 「ディナー口さん、残念ながら銀行はこれ以上のお金をあなたに融資することはできません。あなたはすでに、来月までに返済しなくてはならない3百万円以上もの借入れがあります」

- ▶ 前の空所は「銀行がお金を貸す」、後ろの空所は「あなたは借りがある」なので、(A)の組み合わせが最適。

□ **I'm afraid** ~ 「残念ながら[申し訳ないですが]~だと思う」

I'm afraid we're going to have to cancel our trip.  
(残念だけど旅行をキャンセルしなくちゃならないのよ。)

13. 「その野球の試合はつかの間の雨によって一時中断された」
- ▶ **interrupt** 「~を一時中断する」は受身の **be interrupted by** ~ の形で用いることができるので(C)がよい。
  - ▶ (A) **reschedule** 「(行事・約束など)の予定を変更する」, (B) **fall** 「落ちる」, (D) **miss** 「(乗物)に乗り遅れる、(人)がいないのを寂しく思う」

14. 「マリコはメキシコ行きを来月まで延期した」

□ **put off** ~ 「~を延期する」 (= **postpone**)

▶ **put off doing** [<sup>x</sup>to do] 「~するのを延期する」

You should not *put off* answering the letter.  
(あなたはその手紙の返事を書くのを延ばすべきではない。)

- ▶ (B) **set off** 「出発する」, (C) **keep off** ~ 「~を近づけない」, (D) **take off** 「(飛行機などが)離陸する、軌道に乗る」

15. 「私は最近になって、ウォルターと私が親戚であることを知った。私たちは離れたいところだ」

- ▶ **be related** で「親戚関係にある」なので、言い換えて「いところ、親戚」を表す(C)を解答する。

16. 「その事故の現場には多くの群衆が集まった」

- ▶ **large** で修飾することから、集合名詞と考える。(A)の **crowd** 「群衆」がよい。
- ▶ (B) **mass** 「集まり、集団」, (C) **people** 「人々」, (D) **set** 「ひとまとまり」

**「多い/少ない」に large/small を用いる名詞**

- |                          |                      |                           |
|--------------------------|----------------------|---------------------------|
| □ <b>population</b> 「人口」 | □ <b>number</b> 「数」  | □ <b>audience</b> 「観衆/聴衆」 |
| □ <b>crowd</b> 「群衆」      | □ <b>family</b> 「家族」 | □ <b>amount</b> 「量」       |
| □ <b>sum</b> 「金額」        | □ <b>salary</b> 「給料」 | □ <b>income</b> 「収入」      |

\* **salary/income** は high/low でも表す。

**発展** 「面積が広い/狭い」も large/small を用いる。「幅が広い/狭い」の wide/narrow と混同しないように。

「狭いアパート[部屋]」は a small [<sup>x</sup>narrow] apartment [room]

17. 「私は多くの家具をもっていない—机と椅子、ソファとコーヒーテーブルだから、全てを動かすのにそんなに長くはかからないはずだ」

- ▶ **much** で修飾されるので **不可算名詞** が入る。続く「机、椅子、ソファ、コーヒーテーブル」から、不可算名詞の(B)「家具」が正解。
  - ▶ (A) **equipment** 「装置」, (C) **goods** 「商品、品物」, (D) **possessions** 「所有物、財産」
- **It shouldn't take long.** 「そんなに長くはかからないはずだ」

18. 「ねえ、ジャッキー。あなた、私の姉と全く同じイヤリングをしてる。全く同じだわ！」

- ▶ 「まさに同じイヤリング」の言い換えなので、(C) **identical** 「あらゆる点で一致する、同じである」を解答する。same の場合は前に the が必要。
- ▶ same は別々のものであるが、**種類・外観・量などの点で異なっていない** という意味。identical は **同一物** であること。

The cars were almost *identical* in color and design.  
(車は色とデザインがとてもよく似ていた。)

His car and mine are *the same*.  
(彼の車と私の車は同じ車種です。)

19. 「タロウの奨学金への応募は断られた」

- ▶ 主語が「タロウの奨学金への応募」なので、**turn down** ~ 「~を断る」の受身を

作る(C)がよい。

□ **turn down** ~ 「~を拒絶する」 (= **refuse / reject**)

Her request for a pay raise *was turned down* again.

(彼女の賃上げ要求は再び拒絶された。)

▶ **turn down** ~ 「(音量などを)小さくする」 (⇔**turn up**)も重要。

Will you **turn down** the stereo? It's too loud.

(ステレオの音を下げてもらえますか。すごうるさいので)

20. 「困った状況を改善するため有益な意見をだすことは『建設的な批判』と呼ばれる」

▶ 「困った状況を改善するため有益な意見を出すこと」なので, **constructive criticism** 「建設的な批判」がこれにあたる。

▶ (A)**scolding** 「小言、説教」, (B)**warning** 「警告」, (D)**complaint** 「不平、不満」